

登校拒否児の性格特性

教育相談部 横内直典

1 気質と性格

平凡社の心理学事典によれば、気質は「内的なもので、感情的特徴をあらわすものであり、先天的・遺伝的に決定されるもの」となっており、性格は「外部にあらわれる反応、あるいは行動に重きがおかれ、人格の意志的側面をあらわし、後天的に決定されるもの」となっている。

心理学事典によるかぎり、両者の違いは、気質は感情的特徴をあらわし、先天的・遺伝的であるのに反して、性格は意志的側面をあらわし、後天的であるという点に見いだすことができる。

このことから性格をまとめてみると、性格とは「体質と関係の深い気質とか素質という生まれつきの基盤のうえに、環境や体験、あるいは習慣などの影響で形づくられたもので、後天的なものである」ということができよう。

2 登校拒否児にみられる性格特性

昭和53年度・54年度に、登校拒否症で来所した中学生ならびに高校生67名に対して、Y-G性格検査を実施した結果から、登校拒否児の性格特性について考えてみたい。

(1) 対象別人数

対象別	性別		計
	男	女	
中学生	19	17	36
高校生	18	13	31
計	37	30	67

表1 対象別人数一覧表

(2) 性格類型

類 型	中 学 生		高 校 生	
	A 類 型	A 0 A' 1 A'' 3	4 (11.1%)	2 1
B 類 型	B 2 B' 0 AB 1	3 (8.3%)	1 5 2	8 (25.8%)

類 型	中 学 生		高 校 生	
	C 類 型	C 6 C' 3 AC 2	11 (30.6%)	1 2 1
D 類 型	D 0 D' 0 AD 1	1 (2.8%)	1 1 1	3 (9.7%)
E 類 型	E 8 E' 8 AE 1	17 (47.2%)	5 4 2	11 (35.5%)
F 型	F 0	(0%)	0	(0%)

表2 性格類型一覧表

○ A 類型；平凡型

日本人としての平均的な性格特性をもつ人。ただ、この型で知能の低い場合は問題行動を起こすことがある。

○ B 類型；不安定積極型

情緒不安定、社会的不適応、活動的、外向的な人で、パーソナリティの不均衡が外にあらわれ、反社会的行動を起こしやすい。

○ C 類型；安定消極型

おとなしく、消極的で、内向的なタイプ。

○ D 類型；安定適応積極型

情緒的に安定し、社会的適応力もあり、活動的、外向的でリーダーシップをとるタイプ。

○ E 類型；不安定不適応消極型

情緒不安定、社会的不適応、消極的、内向的なタイプで、パーソナリティの不均衡や内的なかつ藤を生じやすい。

○ F 型；へそまがり型

受検態度に疑問があり、精密検査を必要とする。

① 中学生、高校生ともにE類型が多いことは、神経症的傾向による者が多いことをものごとっている。

② 高校生にB類型が25.8%と高く出現している。知能的な面を精査しないと、なんとも